

## 巨大な「旧一葉亭」の廃墟が見られる最後の2日間、 みなかみみらいマルシェ2026を9/19(土)・20(日)に開催

株式会社オープンハウスグループ（本社 東京都千代田区、代表取締役社長 福岡 良介、以下「当社」）は、2021年9月に群馬県みなかみ町、群馬銀行、東京大学大学院工学系研究科（以下「東京大学」）と締結した「産官学金包括連携協定」に基づき進めております「水上温泉街再生プロジェクト」の一環として、2026年9月19日（土）・20日（日）に、水上駅から道の駅水紀行館までの約1.5kmの温泉街全体を巡るマルシェ「みなかみみらいマルシェ2026」をみなかみ町、群馬銀行、東京大学と共催いたしますので、お知らせいたします。

本イベントは利根川源流のまち、水上温泉街の再生に向けた社会実験として、2022年から開催してきた「廃墟再生マルシェ」を進化させたイベントで、今回で5回目の開催となります。温泉街の中心に横たわる「旧一葉亭」は、いよいよ再生工事が着工へと進むため、今年は工事が始まる前の最後のマルシェとなり、「廃墟」としての旧一葉亭に立ち会える、最後の2日間になる予定です。

今年は11の小さなマルシェ群で過去最大の約70店舗が参加予定で、水上温泉街再生の拠点「旧一葉亭」の内部を見学できる「廃墟ツアー」も実施されるほか、初めての取り組みとして、「MIDORI SOW」付近でワンちゃんが川遊びできる水上ドッグランを開催予定です。



### 温泉街の「余白」で遊ぶ11の小さなマルシェ群

今年のコンセプトは「余白」です。使われていない空き地、店先の軒下、建物と建物のあいだの路地など、温泉街には、機能が定まらないまま残されてきた場所が数多くあります。それらを「まだ何も決まっていない場所」として捉え直し、遊び、使いこなしてみることが、温泉街のこれからを考えるうえでの手がかりになると考えています。会場の設えやデザインのトーンも、この「余白」を出発点としています。

会場は、JR水上駅から道の駅水紀行館までのおよそ1.5kmのエリア内に11か所です。水上駅付近のかつての書店を再生したブックカフェ「Walk On Water」、減築・再生工事が進む「旧一葉亭」の正面玄関、閉館した温泉旅館「一葉亭」の元従業員寮で文化的活動拠点への再生が進む「旧ひがき寮」、道の駅水紀行館付近のかつてのアパートを再生した複合施設「MIDORI SOW」など、これから再生していく廃墟から、味わいを残しながら生まれ変わった建物まで、多様な表情を持つ空間が会場となります。

それぞれの会場には固有の廃墟再生のストーリーがあり、その空間に合ったコンセプトでマルシェ会場を演出します。

そのほか、会場各所では、水上温泉街再生プロジェクトの歩みに関する展示が行われるほか、「旧一葉亭」では当社の群馬県内での地域共創の取り組みを紹介するブースが設置され、「旧蒼海ホテル/湯原橋周辺」では当社グループの群馬みなかみ ほうだいぎスキー場と群馬クレインサンダーズのコラボイベントを実施予定です。

## 水上温泉街再生の拠点「旧一葉亭」で開催される2つの企画

水上温泉街再生の拠点として建物の減築・再生工事が進む「旧一葉亭」は再生に向けた工事着工を控えており、今年は工事が始まる前の最後のマルシェ、すなわち「廃墟」としての旧一葉亭を訪れることができる最後の機会となります。

まちが大きく変わっていく転換期にあたり、この節目にあわせて2つの企画を予定しています。ひとつは、廃墟としては最後になるであろう「廃墟ツアー」。もうひとつは、建物にもともと使われていたタイルや壁、床のカケラを集めるワークショップです。集めた断片は、再生後の建物へ引き継ぐための素材として保管し、活用の方法を検討していきます。失われるものと、受け継いでいくもの。その両方を来場者のみなさまと一緒に見つめ、次の時間へ渡していく準備を進める2日間となります。

### ※廃墟ツアーについて

通常は立ち入りが厳しく制限されている廃墟内部を、ガイド付きで安全に見学できる貴重な機会であり、水上温泉街再生プロジェクトの最新の状況を直接感じていただくことができます。

- ー原則、事前申込制となります。
- ー安全のため、ツアー参加にはヘルメットの着用や誓約書への署名が必要です。
- ーツアー以外で内部に入ることは不法侵入となり厳禁です。

申込フォーム：

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdBEbnEaR11cNL3V2-9e8UEsv67sVh3VcodwwCo1jDLrQi\\_VQ/vjwform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdBEbnEaR11cNL3V2-9e8UEsv67sVh3VcodwwCo1jDLrQi_VQ/vjwform)

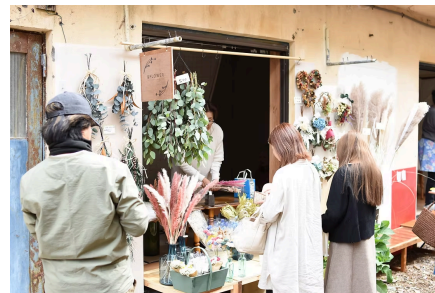


## 「廃墟再生マルシェ」から「みなかみみらいマルシェ」へ、地域全体でつくる新たなマルシェ

「廃墟再生マルシェ」は、利根川源流のまち、水上温泉街で2022年にスタートした、見捨てられかけていた建物の魅力を掘り起こしながら開催されるイベントで今回で5回目の開催となります。

実際にまちなかにある空間の暫定活用実験を行うことで、温泉街のこれからを問いかけ、共に考える、ひらかれた場づくりとして東大院生らが提案し、過去4回実施。見捨てられかけていた建物に焦点を当て、まちなかに隠れていた、魅力あふれる場所を見つけ出し、地元の方々とともに最小限の手直しを加えながら、個性的で味わいある雰囲気を楽しんでもらう会場づくりを行ってきました。

### ※過去のイベントの様子



1回目は温泉街の中に眠っていた「旧ひがき寮」に約1,300人。2回目は利根川に面する「旧一葉亭エネルギーセンター」に約3,000人。3回目はまちなか4会場を巡る形で約4,500人。そして昨年、「廃墟再生」から「みらい」へと名を変え、10会場・50店舗以上が集う規模へと育ちました。今年のみなかみみらいマルシェでは、みなかみ町へ移住された方やUターンされた方、直近あるいはこれからオープンされる店舗など、参加者が参加者を呼ぶ形で年々広がり生まれており、今年は過去最大となる約70店舗の出店を予定しています。

利根川源流のまちならではの美しい水を飲み比べできる「水場 -WATER BAR-」は今年の新しい目玉企画であり、その水で仕込まれたクラフトビールやコーヒー、コーラも味わえる他、お団子やカレーのお米も、



みなかみの美味しい水を使って仕込まれたものばかりです。また、廃墟再生の文脈に共感する出店者たちにより、廃材や自然素材を活用したアップサイクルなものづくりやクラフト体験も多数企画されています。

### 「駅から駅まで」ゆったり楽しむスローモビリティ社会実験

昨年、社会実験として初めて実施した「スローモビリティ」を今年も運行いたします。JR水上駅から道の駅水紀行館までの約1.5kmは若干の高低差もある道のりですが、外の風景をゆったりとした速度で楽しみながら、移動そのものを楽しんでいただくことを目的としています。電気バスやシェアバイクなど環境に優しい移動手段で、水上温泉街の風景や廃墟再生のスポットを巡る体験を提供いたします。

当日混み合うことが予想される温泉街中心部は、水上温泉街初の『一方通行化実験』（琥珀の森からオクトワンプルーイングまでの間）を行い、もっとスローな温泉街散策が可能に。そしておむつ替えスペースの確保やペットとともに楽しめる会場なども新たに用意しており、温泉街に足りなかったものを街全体で補い合いながら、いろんな方にお楽しみいただける体制を整えています。

今年もこのマルシェは、温泉街のひとつ先の未来をみんなで考えるまちづくりの社会実験と連動して、開催されます。

### デジタルマップの本格導入により、さらに環境にやさしいマルシェへ

会場数・出店者数・来場客数とも年々増加している状況を踏まえ、今年からデジタルと観光の融合に取り組むスタートアップ・Tripia株式会社との協働により、デジタルマップを本格導入いたします。スマートフォンやタブレットを片手に巡れば、食べたいもの見たいものを、いまどこで食べられるか見られるかが、簡単に検索できます。年々増加していた紙版のマップも大幅に印刷を削減でき、豊かな自然を持つみなかみ町によりふさわしいマルシェへバージョンアップします。Tripia株式会社の協力によるゲーム要素を加えた周遊企画「みなかみguesser」も現在作成中。当日はいろんな視点で、よりスマートに、温泉街散策をお楽しみいただけます。

### 「みなかみみらいマルシェ2026」開催概要

日時：2026年9月19日（土）・20日（日）11:00～20:00

場所：水上温泉街（群馬県みなかみ町湯原地区周辺）

会場：11か所（「Walk On Water」「旧蒼海ホテル／湯原橋周辺」「ジュラク旧ランドリー工場」

「旧ひがき寮」「旧一葉亭正面玄関」「matatabi横」「OCTONE Brewing」「鈴木家母屋」「あらたし前」

「MIDORI SOW」「道の駅水紀行館」）

主催：みなかみみらいマルシェ実行委員会

共催：みなかみ町 / 株式会社群馬銀行 / 株式会社オープンハウスグループ / 東京大学大学院都市デザイン研究室

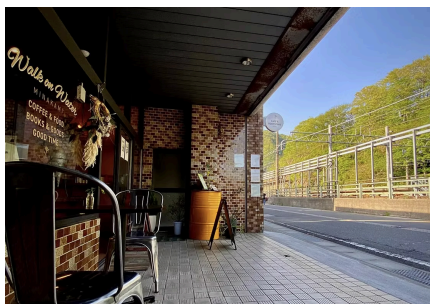
協力：湯原区、みなかみ町観光協会、道の駅水紀行館、みなかみホテルジュラク、群馬トヨタ自動車株式会社、株式会社Staple、株式会社再生建築研究所、Tripia株式会社

公式WEBサイト：<https://www.minakami-haikyo-saisei.com/>

Instagram：@haisai\_minakami

来場料：無料

その他：小雨決行、荒天時中止



## 水上温泉街再生プロジェクトについて

高度成長期からバブル期にかけて「関東の奥座敷」として隆盛した水上温泉は、個人旅行へとニーズが移行して以降、大型施設の宿泊客が大幅に減少し、ホテルや旅館の廃墟化が問題となっていました。

このような背景のもと、当社、みなかみ町、群馬銀行、東京大学大学院工学系研究科は、2021年9月に締結した「産官学金包括連携協定」に基づき、温泉街の中心部に位置する、廃業した大規模旅館「旧一葉亭」の再生を中心とした、温泉街を再び活性化させるプロジェクト（※1）を4者連携で進めています。

このプロジェクトの最大の特徴は、旧一葉亭を従来の「スクラップ＆ビルド」ではなく、「減築＆再生」という新しいアプローチで再生する点です。既存建物を取り壊さずに活かすことで、廃棄物および建設時のCO2排出量の削減が可能となる等、環境に配慮した取り組みとなっています。

2022年には再生建築研究所が既存建物の調査を実施する等、本プロジェクトに参画し、2024年にはみなかみ町が行う公募によりStapleが活用事業者として参画しました。現在は、産官学金で連携し、訪れる人々、風景との関係性、光や風の取り込み方、まちの在り方などを考察しながら、広場、大階段、ホテルなどを計画し、自然と調和した新しいまちづくりを追求しています。地域の課題を解決すると同時に、環境負荷を低減する次世代型の再生モデルを創り上げることで、みなかみ町の景観的・経済的活性化に貢献してまいります。

※1：みなかみ町は、温泉街再生の拠点となる「旧一葉亭」の対象施設を宿泊や飲食等の観光施設として活用する事業者を選定する公募を行いました。今後、旧一葉亭をリニューアルした上での運営を開始することを目指しています。当社グループはみなかみ町へ、2022年・2023年・2025年に、企業版ふるさと納税として計5億3千万円の寄附を行いました。この寄附は、「水上温泉街再生プロジェクト」など、みなかみ町が進める、町への新たな人の流れを生む取組に活用されています。



## 株式会社オープンハウスグループの地域共創事業について

オープンハウスグループは、「地域の活力向上に積極的に貢献し、街の元気を作ります」を事業展望の一つとして掲げ、地方公共団体をはじめとするさまざまなステークホルダーと協力しながら、地域が抱える課題を解決し、地域の資源や特長を生かし新たな価値を共に創造する「地域共創」事業に取り組んでいます。各地域が抱える課題と真摯に向き合い、地域を活性化させるための対策を講じることで、人の流れを作り、雇用を生み出し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

現在の主な取組：水上温泉街再生（産官学金連携）・OPEN HOUSE ARENA OTA（官民連携）・群馬クレインサンダーズ・群馬みなかみ ほうだいぎスキー/キャンプ場・KIRINAN BASE（桐生南高校跡地の利活用）・オープンハウスの森（森林保全活動）

地域共創プロジェクト：<https://kyoso.openhouse-group.co.jp/>

株式会社オープンハウスグループ Web サイト URL：<https://openhouse-group.co.jp/>

株式会社オープンハウス Web サイト URL：<https://oh.openhouse-group.com/>

## 企業概要

商号 株式会社オープンハウスグループ

本社所在地 〒100-7020 東京都千代田区丸の内 2-7-2 JPタワー20階（総合受付）・21階

創業 1997年 9月

代表者 代表取締役社長 福岡 良介

資本金 203億1,988万円

従業員数（連結） 6,495名（2026年3月末時点）

＜本件に関するメディア関係者様からのお問い合わせ＞

株式会社オープンハウスグループ 広報（由井）

TEL：03-6213-0783 MAIL：[pr@openhouse-group.com](mailto:pr@openhouse-group.com)